大阪城

2020 5/21 (木) 14071号

全港湾 西成分会

ごんわ 6647-4947

コロナの対策や方針を世界的に決めるWHO(世界保健機関)の総会がジュネーブであった。トランプが中国たたきや会費をはらわない!とか画策したが、世界の多数派はとれなかった。アメリカというより、トランプ政治の終りを感じさせる。11/3(火)は、アメリカ大統領選挙だ。世界の政治の焦点は、11/3の結果に流れこんでいく。あと5ヶ月少し、政治の時間では、アッという間である。そんな、大局。世界の戦略的流れの中で、今日には、関西方面の自粛などがとけるとかいう。感染者数が、少なくしか上ってこなくなったからという。PCR検査などそもそも、多くやってないのだから、少ないのではと思うが、とにかく、自粛解除という。

もちろん、このまま、コロナがいなくなり、感染がなくなれば、良いのだが、はたして、そんな風にいくだろうか。第2波は、だれもが心配している。梅雨をくぐり、熱中症との戦いも始まる。マスクをつけて、猛暑を生きぬく夏になる。換気のために、冷房・クーラーなどにあまり依存できない夏になりそうです。

近畿圏「新型コロナ緊急事態宣言」正式解除

「新しい日常」って、どんな生活？

新型コロナ対策の「緊急事態宣言」大阪・京都・兵庫の近畿圏が解除されます。残すところ東京・神奈川・千葉・埼玉の首都圏と北海道のみとなります。大阪では先週から「大阪モデル」として先行して「営業自粛」「外出自粛」の要請解除を始めていましたが、国による正式解除はまた意味が違うようです。

これで正常な日常に回帰する動きがはじまりますが、それは「昔の日常」ではなくて「新しい日常」の生活をしろみたいな話があって、「コロナにかからない」「かけない」生活のため、「テレワーク」だとか「ソシアルディスタンス」とかしろというらしいけど、なかなか難しそうです。

いずれにせよ「全滅状態」の西成・センター界隈の仕事。なんとか回復に向かってほしいと思います。なかなか厳しそうです。

10万円では焼け石に水！仕事の回復どうなる経済対策を早く！